

目的 卵黄レシチン投与による血清脂質などの変動と、あゆせ?ヨーク・プロテイン投与による同種変動について検索した。

方法 ウィスター系雄ラットの幼若と成熟を用いて、投与実験を行った。レシチンはPL30を幼若群、放熱群共に粗脂肪46%の基本飼料に5%添加して、10週並びに25週飼養し、24時間飢餓となり、血液を採取し、血清総コレステロール、HDL-コレステロール、遊離脂肪酸および血清アルブミンについて測定した。

ヨーク・プロテインは同種幼若・成熟ラットを用い、粗たん白質6%の基本飼料に20%添加し、10週並びに15週飼養し、同種血液を採取し分析した。ヨーク・プロテイン群のコントロールは粗たん白質24.1%の基本飼料を用いた。

結果 卵黄レシチン25週間投与群では、幼若ラットの10週間投与群に比べ、放熱ラットのHDL-コレステロールの増加傾向のみみられた。血清アルブミン値は各群共極めて変化が少なかったが、遊離脂肪酸値は幼若25週投与群が有意に増加した。

ヨーク・プロテイン投与群では、放熱25週間飼養で血清総コレステロール並びにHDL-コレステロールが有意に増加したが、他の投与群ではHDL-コレステロールの僅かな増加傾向のみみられた。他の血液成分は大きな変動はみられなかった。

以上から卵黄レシチン投与群のうち、幼若25週間飼養群において、血清アルブミンに討って遊離脂肪酸の増加傾向のみみられたことについて、さらに検討が必要と思考される。